

(記入例)

事業用大規模建築物 廃棄物保管場所等設置届

令和 年 月 日

北九州市長 様

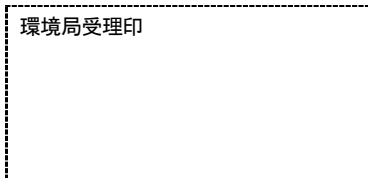
住所(所在地) 北九州市
(法人名) 株式会社
氏名(代表者) 代表取締役

北九州市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第27条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

Table with columns for location, building owner, designer, contractor, building name, storage capacity, container details, floor area, etc. Includes handwritten calculations for volume and area.

添付書類 1. 保管場所の位置図 {建物位置、収集車両の敷地内使用道路(搬入搬出ルート)が分かるもの}
(注6) 2. 保管設備の仕様及び設計図(配置図・断面図・構造図)
...延べ床面積、保管場所床面積の根拠となる求積図

(注3) 保管容器の必要数量・ポリ袋の必要枚数は小数点以下四捨五入



保管場所必要容量計算書

下記の計算式により、一般廃棄物保管に必要な容積を算出し、表面の設置届必要容積欄に転記して下さい。
なお、一般廃棄物の1日の総排出量が不明の場合は、次表の用途別の床面積当り排出量を目安にして下さい。

1日当りの排出量単位 kg/m²

| 施設の用途 | 床面積当り排出量 | 施設の用途 | 床面積当り排出量 |
|----------|----------|-------|--------------|
| 事務所ビル | 0.05 kg | 学校 | 一人当たり0.15 kg |
| 文化施設 | 0.04 kg | 娯楽施設 | 0.015 kg |
| 店舗（飲食店） | 0.35 kg | 駐車場 | 0.005 kg |
| 店舗（衣料品店） | 0.35 kg | | |
| デパート | 0.12 kg | | |
| ホテル | 0.08 kg | | |

①
用途別床面積当り排出量 (事務所0.05 kg/m² × 延べ床面積 70 m²) ÷ 1,000 kg = 1日の排出量 0.0035 トン

②
用途別床面積当り排出量 (店舗0.35 kg/m² × 延べ床面積 4,500 m²) ÷ 1,000 kg = 1日の排出量 1.575 トン

③
用途別床面積当り排出量 (駐車場0.005 kg/m² × 延べ床面積 1,000 m²) ÷ 1,000 kg = 1日の排出量 0.005 トン

④
用途別床面積当り排出量 () kg/m² × 延べ床面積 () m² ÷ 1,000 kg = 1日の排出量 () トン

1日の総排出量 = ①+②+③+④ = 1.5835 トン

1日の総排出量 1.5835 トン ÷ ごみ比重 0.20 トン/m³ = 1日のごみ容量 7.9175 m³

1日のごみ容量 7.9175 m³ × 収集間隔日数 1 日 = 保管場所必要容積 7.9175 m³

- ※1 建物延べ床面積、保管場所床面積の根拠となる求積図を添付してください。
- ※2 収集間隔日数は、毎日収集の場合=1日、週2回収集の場合=最も長い収集間隔日数(例:4日)として下さい。
- ※3 保管場所必要容量計算書の数字に関しては小数点以下4桁まで5桁目は繰り上げて下さい。

廃棄物保管場所の設置届記入上の注意点

廃棄物保管場所等設置届とその裏面の保管場所必要容積計算書の記入にあたっては、別紙記入例を参考にしてください。

記入例(注1)～(注6)の箇所は以下の点に注意してください。

(注1)建設者(建築主)の代理人が届出者となる場合は、委任状を添付して下さい。(押印は不要です)

(注2)裏面の保管場所必要容積計算書の計算式(小数点以下4桁まで、5桁目は繰り上げ)により、一般廃棄物保管に必要な容積を算出し、表面の設置届必要容積欄に転記して下さい。

合理的な理由があれば、保管場所必要容積計算書の計算式によらない予想量でもかまいませんので、保管場所の必要容積が分かるよう別紙に具体的に記入して提出して下さい

(注3)下記により、一般廃棄物保管場所として必要な床面積を算出して下さい。

・保管容器(コンテナ等)で保管する場合

容器名称、外寸(縦・横・高さ)、必要数量、必要床面積を記入して下さい。

必要数量は、(注2)の必要容積を1容器の容量(縦×横×高さ)で除した個数(小数点以下四捨五入)を記入して下さい。

必要床面積は、保管容器の必要数量に1容器の必要面積(容器の縦×横)を乗じた面積を記入して下さい。

・ポリ袋(45ℓ)で保管する場合

必要枚数、必要床面積を記入して下さい。

必要枚数は、(注2)の必要容積を1枚の容量 0.036m^3 (45ℓの袋容量の8割を有効ごみ保管量とします)で除した枚数(小数点以下四捨五入)を記入して下さい。

必要床面積は、ポリ袋の必要枚数に1枚の必要面積 0.2m^2 を乗じた面積を記入して下さい。

・その他の方法で保管する場合

保管場所の必要床面積が分かるよう別紙に具体的に記入して下さい。

(注4)設置する一般廃棄物保管場所の床面積を記入して下さい。

保管容器(コンテナ等)やポリ袋を積み重ねて保管する場合は、床面積×段数を延べ面積として記入して下さい。(ポリ袋で保管する場合の段数は、三方を壁で囲ってあれば3段以下、そうでなければ2段以下として下さい。)

最後に、【保管場所の床面積(積み重ねる場合は延べ面積) > 保管場所の必要床面積】となっているか確認して下さい。

(注5)再使用等対象物保管場所の床面積を記入して下さい。

積み重ねる場合の基準は、(注4)の一般廃棄物の場合と同様に述べ面積を記入して下さい。

保管場所の基準面積は、(参考条例等)事業用大規模建築物又は大量排出事業所における廃棄物の減量及び適正処理に関する指導要綱第4の別表(*)のとおりです。

【保管場所の床面積(積み重ねる場合は延べ面積) > 保管場所の基準面積】となるように努めて下さい。

(注6)保管設備の仕様及び設計図(配置図・断面図・構造図)には、洗浄・排水設備について位置等がわかるように表示して下さい。

*
事業用大規模建築物又は大量排出事業所における廃棄物の減量及び適正処理に関する指導要綱(抜粋)
第4 資源化の対象となる廃棄物の保管場所の面積算出基準
資源化の対象となる廃棄物の保管場所の基準は別表のとおりとする。

別表

| | 3,000㎡当りの資源化の対象となる廃棄物の保管場所面積 | |
|----------------------|------------------------------|---|
| 事務所ビル、店舗 百貨店、スーパー | 4㎡以上 | 注)本表は、延べ面積3,000㎡当りの基準であるので、建築物の規模、資源化物の量に応じて必要面積を増やすこと。 |
| ホテル、文化施設 病院、診療所 | 3㎡以上 | |
| その他 | 2㎡以上 | |